

山口新聞

平成26年11月28日(金)

NO.131



農地・水環境

守ろう地域の手に

131



本地区は山口市南部の旧家の家老矢戸家の領地にち秋穂町で最初のほ場整備事業なんだ矢戸開作の受益地が業を実施した地域で、毛利中心である。現在は青江開

青江開作美創会(山口市)

草刈りや花壇づくりも

作と呼ばれ、水稻、キャベツ、トマト、ミカンなどを作付けている。



① 会員の皆さん
② 水路の泥上げ作業

保全組織の活動は、ため池や道水路法面の草刈り、用排水路の泥上げが中心。毎年、少しずつ施工している農道法面の張りコンクリートは、浸食防止に加え、草刈り努力の省力化に大きな効果がある。

直営施工で水路の分水個

所に既製品のゲートを設置したことにより、今まで土のうなどで止水していた苦勞も解消された。

環境活動の花壇づくりは多くの人に見てもらえるよう、今後は県道近くに拡大することを検討している。

今年米の値段が安く不安はあるものの、活動には若い人も積極的に参加してまとまりが強いので、引き続きがんばりたい。

(代表、木村弘)

|| 金曜日掲載 ||

【メモ】代表 || 木村弘
▽ 会員 || 25人、農家 (19戸)、非農家、水士里ネツト秋穂、先青江自治会、先青江子供会、JA山口中央秋穂支所など▽ 連絡先 || 山口市秋穂東6338の4、木村弘さん ☎ 083・984・3726